

キャッシュレス化の推進について



公明党
堀 雄一朗 議員



質問 自治体でも納税・手数料等徴収のキャッシュレス化の動きが見られる。本市も検討すべき時期では。

市長 本市では窓口での支払いのキャッシュレス決済は未導入だが、市税の納付書ではバーコードで手続きが行えるモバイルレジを導入している。決済方法が多く、選定の難し

さや初期費用及び運用費用などの課題がある。先進事例を研究したい。
【自治体デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画】の推進体制について

質問 総務省により計画が策定され、本年1月から実施されているが、本市での推進体制を伺う。

市長 計画では、自治体のデジタル化には組織体制の整備や人材の確保・育成等で推進体制を構築するのが望ましいとしている。社会のデジタル化の流れに対応し、市民の利便性向上や業務効率化を図るには体制強化が必要。今後国から示される標準的手順等を参考に進めていきたい。

市道の維持管理について



正和会
山崎 貴裕 議員



▲道路通報システムリーフレット(東京都建設局)

質問 道路には交通機能や生活基盤、またライフラインの収容や災害時の空間機能といった役割があり、自動車や自転車、歩行者が安全に利用できるように路面状態を保つことが重要だが、本市では、市道においてどのような維持管理に努めているのかを伺う。

市長 平成25年度の道路法施行規則の一部改正で5年に一度道路ストック点検が義務付けられたことから、同年に橋梁長寿命化修繕計画を策定、市内19か所の総点検を実施した。市道では令和元年度に路面下空洞調査等の道路ストック点検を実施。点検結果を対応の緊急度合い別に仕分し

対象路線を選定、計画的に補修工事に取り組んでいる。このほか、定期的な職員による道路パトロールや昨年10月から運用を開始した携帯電話アプリ「道路通報システム」により市民から危険箇所の通報があった場合は速やかに補修をするなど、日頃より適切な維持管理に努めている。

子育て関連施策について



正和会
武藤 政義 議員



▲市独自事業の「総額1億円キャッシュバック事業」チラシ

質問 日経DUALと日経新聞社による「共働き子育てしやすい街ランキング」では全国4位となった。本市の子育て関連施策が長期にわたり高評価を継続できる理由を伺う。

市長 このランキングは、コロナ禍においていかにスピード感を持って政策が打ち出せたかが焦点だった。

本市では、ひとり親家庭等へ市独自の給付金3万円をいち早く支給した「ひとり親家庭等への臨時特別給付金給付事業」をはじめ、「ウェルカム赤ちゃん臨時特別給付金事業」、「総額1億円キャッシュバック事業」など、他の自治体よりも手厚く、そしてスピード感と独自性を持って事

業を展開した。本市では早い時期から全庁的に子育て関連施策に取り組んできた。「子育てするならふっさ」のスローガンが職員全体に強く根付いており、継続した施策の展開につながった結果、毎年度どの角度から見ても他の自治体に負けないものになっていったと考えている。

新型コロナウイルス感染症等の家庭でのガイドラインについて



正和会
小林 貢 議員



▲福生駅西口地区施設計画イメージ図

質問 家庭で症状や感染者が出た場合のガイドラインを市民へ分かりやすく周知すべきではないか。

市長 感染して療養する場合、御本人や濃厚接触者に保健所が注意点などを説明している。また自宅療養者や濃厚接触者向け情報や清掃・消毒や家庭内での注意等を保健所のホ

ームページで案内しており、本市ホームページからもリンクしている。
福生駅西口地区市街地再開発事業の本市中心部としての役割について

質問 都市機能を集約しにぎわいを創出することのことが、具体的な内容及び本市の中心部としての役割をどう果たしていくのかを伺う。

市長 広場や公園の整備、歩行者環境の向上、新たな公共公益施設と民間街区との連携での来街者の増加でにぎわいや魅力が創出されると考える。当地区は駅を中心に発展したことから、生活利便施設等の誘導によるコンパクトで利便性の高い市の中心部としての役割を期待している。

災害廃棄物処理体制の構築について



正和会
佐藤 弘治 議員



▲福生市子ども読書活動推進計画

質問 がれき処理用の5つの仮置場のうち3か所は多摩川沿いで、冠水時は代替地が必要になるが、適地の条件や候補地について伺う。

総務部長 東京都は仮置場は原則的に公有地で、利用しやすい土地で液状化の可能性が低く、二次災害や環境、地域の基幹産業への影響が小

さく、廃棄物を運搬できる道路に面すること等を条件としている。本市は市域がほぼ住宅地で全ての合致は難しいが、可能な限り効果的・効率的に処理できる場所を選定したい。

ジュニア司書養成講座について

質問 第四次福生市子ども読書推進計画の新規事業とのことだが、詳

細を伺う。

教育長 図書館事業「一日図書館員」のステップアップ事業で、司書の仕事や図書館のしくみを学び「読書リーダー」となる「ジュニア司書」を養成する。読書の楽しさ、喜びを伝え、活動を通じ社会の担い手として成長することを期待する。

バリアフリー対応型信号機の整備について



公明党
五十嵐 みさ 議員



▲バリアフリー対応型信号機

質問 第3期福生市バリアフリー推進計画では対応型信号機の整備を進めると書かれており、令和元年度の進捗と評価はAランクとされている。その所見と、特に視覚障害者向け音声付き信号機の整備状況を伺う。

市長 信号機の整備には福生警察署と協議を行い、設置箇所の選定は、

駅や病院など高齢者や障害者の利用頻度が高いと考えられる施設周辺のニーズを把握の上、総合的に判断する。これらを踏まえ、平成29年の「福生市高齢者・障害者生活実態調査」報告書で設置要望箇所として挙げられていた福生市役所前交差点など3か所と、福生署との協議から福生駅

西口前交差点など2か所の計5か所を選定。福生署より東京都公安委員会に上申しいただき、これまで鍋ヶ谷戸交差点と福生病院前交差点の2か所に設置している。今後、残り3か所の早期設置を福生署に働きかけ、その後は改めて必要に応じ新たな設置箇所を選定したい。